

吹 歯 発 第 6 8 号

平成 2 9 年 7 月 吉 日

一般社団法人 豊中市歯科医師会  
会 長 真鍋 哲也 様

一般社団法人 吹田市歯科医師会  
会 長 疋田 陽造



## 第 2 回吹田市歯科医師会 学術講演会のご案内

謹啓、盛夏の候、貴地区におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当会に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、下記日程にて、第 2 回吹田市歯科医師会 学術講演会開催をご案内申し上げます。  
鵜沢成一教授はご就任後間もないですが、有意義なご講演ですので広く北摂地区の先生方と  
共にお聞きしたいと存じます。

ご多忙とは存じますが、貴地区会員および各医院のスタッフの学術講演会へのご受講を賜り  
ます様、貴職の格段のご高配をお願い申し上げます。

謹白

### 記

日 時 平成 2 9 年 8 月 3 0 日 (水) 午後 8 時～

場 所 吹田市立 保健センター 3 F 研修室

講 師 大阪大学大学院歯学研究科 口腔外科学第二教室  
教授 鵜沢 成一 先生

演 題 一般歯科臨床における緊急性・重要度の判断

(一社) 吹田市歯科医師会 事務局

TEL 06-6389-1865

FAX 06-6389-3387

# 吹田市歯科医師会講演会

## 一般歯科臨床における緊急性・重症度の判断

一般開業歯科医の先生方におきましては、「どのような症例を口腔外科に紹介すべきか?」「この症状はどれくらい重篤なのか?」「今日、すぐに口腔外科に行ってもらった方がいいのか?」など判断に迷われることも多いかと思います。我々は、日常的に、数多くの口腔内外の疾患が疑われる患者さんを、さまざまな診療科や開業医の先生方から、ご紹介いただいております。その中には、下顎智歯周囲炎などのかかなり頻度の高い疾患から、口腔内への転移性腫瘍などの極めて珍しい疾患まであります。口腔外科臨床では、患者と疾患の難易度をすばやく判断する能力が要求されます。紹介状や様々な患者情報から患者の社会的背景や状況を推察し、疾患についても緊急性・重症度を判断してゆきます。今回は、一般開業医の先生方に是非知っておいていただきたい歯科臨床における緊急性・重症度の判断の方法をご紹介したいと考えております。さらに、口腔早期癌や粘膜疾患の診断や口腔外科では常識と考えられていることでも、一般的にはまだ、知られていないことなどについても概説させていただきます。

## ごあいさつ



平成 29 年 6 月 1 日付で大阪大学 大学院歯学研究科  
口腔外科学第二教室教授を拝命いたしました 鷗澤 成  
一（うざわなりかず）です。どうぞよろしくお願い申し  
上げます。

わたくしは、東京医科歯科大学歯学部を平成 4 年に  
卒業し、第一口腔外科に大学院生として入局いたしました。学位取得後、  
1 年間、当時東京大塚にありました癌研病院頭頸科にて、頭頸部癌手術  
の基本を研修し、平成 9 年から最近まで、東京医科歯科大学顎顔面外科  
（旧第一口腔外科）にて、診療・研究・教育に従事してまいりました。

東京医科歯科大学顎顔面外科は、年間約 6,000 名を超える新患を引き  
受けており、国内トップクラスの症例数を誇っています。そのような環  
境で 20 年以上にわたり口腔外科臨床に従事してきたことを鑑みると、  
最も多くの症例・経験を積んだ口腔外科医の一人であると自負しており  
ます。

大阪大学におきましては、今までの経験を活かし臨床・教育・研究の  
どれもおろそかにせず、有能な人材の育成に努めてゆきたいと考えてお  
ります。さらに、病院と診療所・関連病院との連携、すなわち、地域医  
療連携には今まで以上に力を注ぐ所存でございます。今後、紹介してい  
ただく先生方から信頼され、安全性の高い高度な医療を提供することを  
モットーに診療すすめてゆきます。

何卒、大阪大学第二口腔外科をよろしくお願い申し上げます。

## 略歴

- 平成 4 年 3 月 東京医科歯科大学歯学部 卒業
- 平成 4 年 4 月 東京医科歯科大学大学院歯学研究科第 1 口腔外科学講座 入学
- 平成 5 年 4 月 同 難治疾患研究所 細胞遺伝学講座にて研究
- 平成 8 年 3 月 博士（歯学）学位授与
- 平成 8 年 4 月 癌研究会病院頭頸科にて研修
- 平成 9 年 4 月 東京医科歯科大学歯学部附属病院 医員
- 平成 14 年 8 月 東京医科歯科大学大学院 顎顔面外科学分野 助教
- 平成 21 年 4 月 東京医科歯科大学歯学部附属病院 顎顔面外科学 講師
- 平成 29 年 6 月 大阪大学 大学院歯学研究科 口腔外科学第二教室 教授